所報
# たまじむ

創刊　平成７年７月　１日
発行　令和７年３月 21 日

通算　第 110 号

東京都多摩教育事務所
東京都立川市錦町４－６－３
Tel　042-524-7222

# 初等中等教育段階における生成ＡＩの適切な利活用

## 1　特集について

近年、急速に進化を遂げている生成ＡＩは、かつてないスピードで社会に普及しており、その利便性とリスクの存在から社会に様々な影響を及ぼしています。学校現場においても、一人１台端末のブラウザや学習支援ソフトウェア等にも組み込まれるなど、利活用が広がりつつあります。

ＡＩ時代を生きる子供たちが生成ＡＩをはじめとするテクノロジーをツールとして使いこなし、一人一人が才能を開花できるようになることは重要であり、生成ＡＩの学校における利活用は、そのための助けになり得るものです。

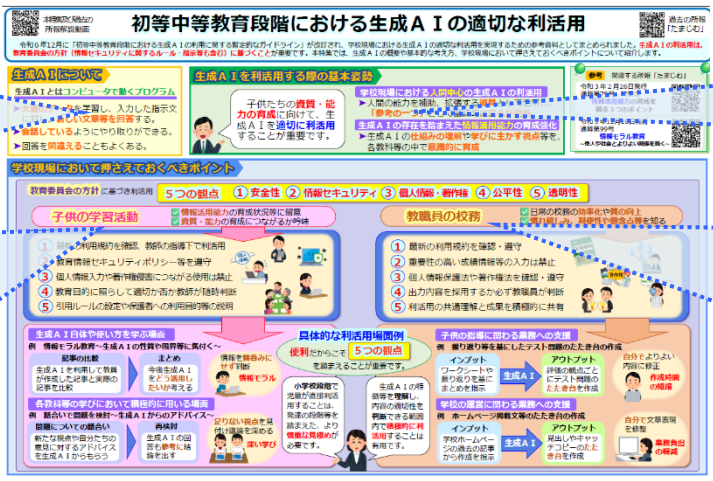
このような背景を踏まえ、令和６年12月に「初等中等教育段階における生成ＡＩの利用に関する暫定的なガイドライン」が改訂され、学校現場における生成ＡＩの適切な利活用を実現するための参考資料としてポイントがまとめられました。生成ＡＩの利活用は、所属校を所管する教育委員会の方針（情報セキュリティに関するルール・指示等も含む）に基づくことが重要です。

本特集では、上記ガイドライン等を踏まえ、生成ＡＩの特徴や生成ＡＩを利活用する際の基本姿勢、学校現場において押さえておくべきポイントについて紹介します。

## 2　紙面の活用について

**生成ＡＩの特徴**について**知る**ことができます。

５つの観点に基づいた**子供の学習活動**で利活用する際の**ポイント**と**利活用場面例**について**理解**することができます。




生成ＡＩを利活用する際の**基本姿勢**を**確認**することができます。

５つの観点に基づいた**教職員の校務**で利活用する際の**ポイント**と**利活用場面例**について**理解**することができます。

**御意見ください**

所報「たまじむ」において、多摩地区の学校及び市町村教育委員会のニーズに応える特集を予定しております。つきましては、特集内容に関する御意見をいただきたく、御協力をお願いいたします。

特集アンケート

**もっと詳しく知りたい**

＜二次元コード（読み取り or クリック）から、**本特集及び過去の所報の解説動画が視聴可能**＞

解説動画

東京都多摩教育事務所のホームページから、これまで発行した所報が閲覧、ダウンロード可能
https://www.tamajimu.metro.tokyo.lg.jp/

たまじむ　検索

本特集及び過去の所報解説動画

# 初等中等教育段階における生成ＡＩの適切な利活用

過去の所報「たまじむ」

令和６年12月に「初等中等教育段階における生成ＡＩの利用に関する暫定的なガイドライン」が改訂され、学校現場における生成ＡＩの適切な利活用を実現するための参考資料としてまとめられました。**生成ＡＩの利活用は、教育委員会の方針（情報セキュリティに関するルール・指示等も含む）に基づくこと**が重要です。本特集では、生成ＡＩの概要や基本的な考え方、学校現場において押さえておくべきポイントについて紹介します。

## 生成ＡＩについて

**生成ＡＩとはコンピュータで動くプログラム**

- ➤**大量のデータ**を学習し、入力した指示文に対し、**新しい文章等を回答**する。
- ➤**会話している**ようにやり取りができる。
- ➤回答を**間違える**こともよくある。

## 生成ＡＩを利活用する際の基本姿勢

子供たちの**資質・能力の育成**に向けて、生成ＡＩを**適切に利活用**することが重要です。

**学校現場における人間中心の生成ＡＩの利活用**

- ➤人間の能力を補助、拡張する**道具**として活用し、**「参考の一つ」**として最終的に**自らが判断**

**生成ＡＩの存在を踏まえた情報活用能力の育成強化**

- ➤生成ＡＩの**仕組みの理解**や**学びに生かす視点**等を、各教科等の中で**意識的に育成**

**参考**　関連する所報「たまじむ」

令和３年２月26日発行
通算第79号　特集③
**情報活用能力の育成を図る３つのポイント**

令和５年12月20日発行
通算第99号
**情報モラル教育**
**～他人や社会とよりよい関係を築く～**

## 学校現場において押さえておくべきポイント

**教育委員会の方針**に基づき利活用

**５つの観点**　①安全性　②情報セキュリティ　③個人情報・著作権　④公平性　⑤透明性

### 子供の学習活動

- ✅**情報活用能力**の育成状況等に留意
- ✅**資質・能力**の育成につながるか吟味

1. 最新の利用規約を確認、教師の指導下で利活用
2. 教育情報セキュリティポリシー等を遵守
3. 個人情報入力や著作権侵害につながる使用は禁止
4. 教育目的に照らして適切か否か教師が随時判断
5. 引用ルールの設定や保護者への利用目的等の説明

### 教職員の校務

- ✅日常の校務の**効率化**や**質の向上**
- ✅**慣れ親しみ**、**利便性や懸念点等**を知る

1. 最新の利用規約を確認・遵守
2. 重要性の高い成績情報等の入力は禁止
3. 個人情報保護法や著作権法を確認・遵守
4. 出力内容を採用するか必ず教職員が判断
5. 利活用の共通理解と成果を積極的に共有

### 生成ＡＩ自体や使い方を学ぶ場面

**例　情報モラル教育～生成ＡＩの性質や限界等に気付く～**

**記事の比較**：生成ＡＩを利用して教員が作成した記事と実際の記事を比較
→ **まとめ**：今後生成ＡＩを**どう活用したいか**考える

情報を**鵜呑みにせず**判断　**情報モラル**

### 各教科等の学びにおいて積極的に用いる場面

**例　話合いで問題を検討～生成ＡＩからのアドバイス～**

**問題についての話合い**：新たな視点や自分たちの意見に対するアドバイスを生成ＡＩからもらう
→ **再検討**：生成ＡＩの回答も**参考に**結論を出す

**足りない視点**を見付け議論を深める　**深い学び**

### 具体的な利活用場面例

**便利**だからこそ**５つの観点**を踏まえることが重要です。

**小学校段階**で児童が直接利活用することは、発達の段階等を踏まえた、より**慎重な見極め**が必要です。

生成ＡＩの特徴等を**理解**し、内容の適切性を**判断**できる範囲内で**積極的に利活用**することは有用です。

### 子供の指導に関わる業務への支援

**例　振り返り等を基にしたテスト問題のたたき台の作成**

**インプット**：ワークシートや振り返りを基にまとめを指示
→ 生成ＡＩ →
**アウトプット**：評価の観点ごとにテスト問題の**たたき台**を作成

**自分で**よりよい内容に修正　**作成時間の短縮**

### 学校の運営に関わる業務への支援

**例　ホームページ掲載文等のたたき台の作成**

**インプット**：学校ホームページの過去の記事から作成を指示
→ 生成ＡＩ →
**アウトプット**：見出しやキャッチコピーの**たたき台**を作成

**自分で**文章表現を修整　**業務負担の軽減**

参考文献
- ○「初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン（Ver. 2.0）」（令和６年12月26日 文部科学省）
- ○都立学校生徒向け電子リーフレット「生成ＡＩを上手に使いこなそう」（令和５年12月　東京都教育委員会）
- ○「リーディングDXスクール事業（生成ＡＩの活用方法に関する教育実践）」（文部科学省ホームページ）
- ○「とうきょうの情報教育（事例を探す）」　（東京都教育委員会　情報教育ポータル）